

どうする農業振興策は

「ブランド力を高める」

質

地域ブランドの確立と販売戦略は。

答 市長

「大分の野菜畑 豊後大野」のブランド確立に向け、流通・販売戦略会議を設置し、十分な市場調査を行うとともに、アドバイザーなどの協力により本市の特徴を生かしたマーケティング戦略を構築していきます。

質

堆肥供給システムの構築は。

答 市長

農業関係者との協議を重ねましたが、経済性、運営管理体制が確立できない状況です。

質

新規就農者の育成は。

答 市長

インキュベーションファーム事業に取り組んでおり、現在までに計10組を受け入れ、今後10年間で60人の新規就農者を確保する予定です。



インキュベーションファーム第3期生の皆さん

また、農業経営基盤のない新規就農者に対して、研修や就農するために必要なハウスおよび農機具の導入などの初期投資に対し、補助制度を設けています。

質

農用地の利用集積の現状と今後の対策は。

答 市長

平成24年度には、「※人・農地プラン」の施策が始まり、マスタープランも県下でトップの作成数となっています。

また、平成26年度からは農地中間管理機構の取り組みが始まり、本市もこのような制度を活用し担い手への農地の集積を図っていきます。



ながの けんじ
緑 政 会 長 野 健 児

※人・農地プラン＝平成24年度から農林水産省が事業を開始した。農業従事者の高齢化や担い手不足が心配される中、5年先、10年先、誰がどのように農地を使って農業を進めていくのかを、地区の話し合いに基づきまとめる計画（プラン）。

質

畜産振興策は。

答 市長

肉用牛生産者の労働条件を支援するための肉用牛ヘルパー、コントラクターなどの事業を推進しており、また、和牛の「おいしさ」に着目した※SCD遺伝子検査や※オレイン酸の組成の改良を進め、特色ある和牛の生産に努めています。

乳牛の改良は、効率よく妊娠し分娩する能力の向上を図るとともに、高能力優良雌牛の導入にも努めていきます。

質

6次産業化の推進は。

答 市長

「農商工連携」の仕組みを利用して産業同士を有機的につなげ、技術革新、販路拡大、多様な流通システムの構築を実現する6次産業化に取り組みます。



市内の畜産農家

質

まちづくり基本条例を広く市民に浸透させることが必要と思うが見解は。

また、条例を浸透させるために何か行っているのか。

順調か、我が市のまちづくりは

～ まちづくり基本条例の広報が必要 ～

答 市長

「市民と市議会、行政の役割」や「まちづくりの仕組みやルール」を市民の皆さまにご理解いただき、お互いに協力し合いながら活用することが重要であると考えています。

今後、さらに折に触れて広報を行うことが必要であり、市報やホームページを活用した周知方法の検討や各団体・各自治区単位での説明会の開催などを検討していきます。

また、平成26年度では「マンガによる解説書」や「紙芝居による解説書」を作成し、小学生から高齢者まで幅広くご理解いただくよう推進していきます。

質

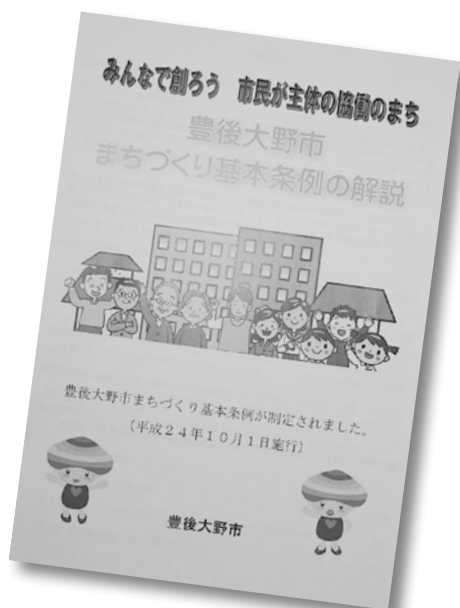
合併当初、市長の諮問機関として設置された各町のまちづくり委員会については10年間（平成27年まで）となっているが、これまでの委員会活動の総括と今後の方向性は。

答 市長

これまで3つのことについて諮問を行い、その他に本市のイメージソングの協議、選定に取り組んでいただく

とともに、ジオパークやまちづくり基本条例について意見交換会を行い、情報の共有と併せて事業推進にご協力いただいているところです。

今後のまちづくり委員会の方向性については、最終年度である平成26年度に各まちづくり委員会の中で総括をいただきたいと考えているところです。



※ SCD (Stearoyl-CoA Desaturase) 遺伝子=脂肪酸を不飽和化し、脂肪を柔らかくする酵素の遺伝子。
 ※ オレイン酸 (不飽和脂肪酸) = 牛肉の風味に最も影響を与えるとされる物質で、一般的には、コレステロール値を下げる働きがあるとされるなど、健康につながる成分として知られている。